



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社 エヌアイデイ 上場取引所 東
 コード番号 2349 URL <http://www.nid.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小森 俊太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 齋藤 健児 TEL 03 (6221) 6811
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,033	1.9	322	△1.6	354	1.3	238	4.3
29年3月期第1四半期	3,960	1.4	327	86.7	350	54.0	229	33.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 221百万円 (14.3%) 29年3月期第1四半期 193百万円 (32.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	63.13	—
29年3月期第1四半期	60.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	15,631	10,255	65.6	2,709.28
29年3月期	15,569	10,253	65.9	2,708.77

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 10,255百万円 29年3月期 10,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	58.00	58.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	53.00	53.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,400	1.8	650	△13.7	700	△13.3	490	△9.1	129.45
通期	18,000	1.8	1,620	△11.7	1,720	△12.6	1,190	△8.8	314.37

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	4,369,830株	29年3月期	4,369,830株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	584,461株	29年3月期	584,461株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	3,785,369株	29年3月期1Q	3,785,412株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善は見られるものの、個人消費は引き続き弱含みに推移しております。また、海外においては、米政権の政策動向や北朝鮮の政治情勢への懸念等、先行きへの不透明感が続いております。

当社グループの属する情報サービス業界においては、景気の先行き不透明感は増大しているものの、企業のIT投資は緩やかな増加傾向で推移しました。一方で、技術者の不足感は強まりつつあり、人材確保の面では厳しい状況が続いております。

こうした状況の中、当社グループは、前連結会計年度より再編されたエンベデッドソリューション事業、ICTイノベーション事業、フィナンシャルシステム事業、ネットワークソリューション事業において、それぞれの事業の強みを活かしつつITの進化や市場の変化に柔軟に対応し成長が見込まれる分野に注力することで持続的成長と拡大を目指しております。

このような取組みの結果、売上面では、各事業において安定した売上を確保し、売上高は4,033百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。利益面では、エンベデッドソリューション事業において発生した不採算案件の影響等により、営業利益は322百万円（同1.6%減）となりました。また、営業外損益及び特別損益が前期に比べて改善したことにより、経常利益は354百万円（同1.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は238百万円（同4.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①エンベデッドソリューション事業

当事業では、カーエレクトロニクス分野の売上が増加しました。この結果、売上高は537百万円（前年同四半期比4.3%増）となりました。一方で不採算案件が発生したことにより営業損失は10百万円（前年同四半期は7百万円の営業利益）となりました。

②ICTイノベーション事業

当事業では、ホームエレクトロニクス、社会インフラ等の分野の売上が増加しました。この結果、売上高は808百万円（同0.8%増）、営業利益は46百万円（同28.9%減）となりました。

③フィナンシャルシステム事業

当事業では、生保・損保分野の売上・利益が増加しました。この結果、売上高は1,038百万円（同1.4%増）、営業利益は172百万円（同42.7%増）となりました。

④ネットワークソリューション事業

当事業では、運輸分野の売上が増加しました。この結果、売上高は1,253百万円（同0.5%増）、営業利益は88百万円（同14.1%減）となりました。

⑤その他

その他には、データソリューション事業、プロダクト事業、人材派遣事業を分類しておりますが、それぞれの事業で安定した売上を確保しました。この結果、売上高は396百万円（同6.5%増）、営業利益は22百万円（同218.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金並びに仕掛品の増加、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ41百万円増加し11,426百万円となりました。固定資産は投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ21百万円増加し4,205百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ62百万円増加し、15,631百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、短期借入金及び未払金の増加、未払法人税等及び賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べ37百万円増加し2,468百万円となりました。固定負債は退職給付に係る負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ23百万円増加し2,907百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ60百万円増加し、5,376百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1百万円増加し10,255百万円となりました。

この結果、自己資本比率は65.6%（前連結会計年度末は65.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,996,807	7,829,760
受取手形及び売掛金	3,526,942	2,431,473
有価証券	207,298	207,298
仕掛品	166,296	513,062
繰延税金資産	348,107	360,996
その他	139,305	83,653
流動資産合計	11,384,757	11,426,245
固定資産		
有形固定資産	275,130	276,226
無形固定資産	119,793	110,584
投資その他の資産		
投資有価証券	2,765,807	2,784,130
繰延税金資産	599,101	607,113
差入保証金	314,893	315,122
その他	109,668	112,376
投資その他の資産合計	3,789,470	3,818,743
固定資産合計	4,184,394	4,205,555
資産合計	15,569,152	15,631,800
負債の部		
流動負債		
買掛金	441,984	432,258
短期借入金	—	390,000
未払金	299,094	392,679
未払法人税等	409,367	146,928
賞与引当金	882,485	456,192
資産除去債務	2,673	2,687
その他	395,550	647,502
流動負債合計	2,431,155	2,468,249
固定負債		
退職給付に係る負債	2,252,030	2,290,632
役員退職慰労引当金	570,075	577,331
資産除去債務	39,783	39,972
その他	22,430	—
固定負債合計	2,884,319	2,907,935
負債合計	5,315,474	5,376,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	9,913,319	9,932,724
自己株式	△1,226,945	△1,226,945
株主資本合計	9,828,401	9,847,806
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	414,776	398,265
退職給付に係る調整累計額	10,500	9,543
その他の包括利益累計額合計	425,276	407,809
純資産合計	10,253,678	10,255,615
負債純資産合計	15,569,152	15,631,800

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,960,004	4,033,951
売上原価	3,177,013	3,219,025
売上総利益	782,990	814,925
販売費及び一般管理費	455,652	492,786
営業利益	327,338	322,139
営業外収益		
受取利息	1,253	1,250
受取配当金	19,414	24,406
投資有価証券売却益	—	4,060
その他	3,998	4,254
営業外収益合計	24,665	33,970
営業外費用		
支払利息	374	425
租税公課	1,090	700
その他	360	163
営業外費用合計	1,824	1,288
経常利益	350,179	354,821
特別利益		
固定資産売却益	507	—
特別利益合計	507	—
特別損失		
固定資産除却損	801	0
投資有価証券評価損	7,196	—
特別損失合計	7,997	0
税金等調整前四半期純利益	342,689	354,821
法人税等	113,500	115,865
四半期純利益	229,188	238,956
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	229,188	238,956
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,152	△16,510
退職給付に係る調整額	△1,239	△956
その他の包括利益合計	△35,392	△17,467
四半期包括利益	193,796	221,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,796	221,488
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	エンベデッドソリューション事業	ICTイノベーション事業	フィナンシャルシステム事業	ネットワークソリューション事業	その他	
売上高						
外部顧客への売上高	515,034	801,584	1,024,181	1,246,687	372,516	3,960,004
セグメント間の内部売上高又は振替高	65,668	13,096	54,538	21,780	176,621	331,705
計	580,702	814,681	1,078,719	1,268,467	549,138	4,291,709
セグメント利益	7,822	65,981	120,828	103,428	7,167	305,228

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	305,228
セグメント間取引消去	1,294
全社費用（注）	20,682
棚卸資産の調整額	131
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	327,338

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	エンベデッドソリューション事業	ICTイノベーション事業	フィナンシャルシステム事業	ネットワークソリューション事業	その他	
売上高						
外部顧客への売上高	537,429	808,096	1,038,551	1,253,295	396,577	4,033,951
セグメント間の内部売上高又は振替高	35,739	33,290	68,875	10,785	187,586	336,277
計	573,169	841,386	1,107,427	1,264,080	584,164	4,370,229
セグメント利益又は損失(△)	△10,224	46,934	172,424	88,824	22,826	320,784

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	320,784
セグメント間取引消去	1,315
全社費用(注)	10,702
棚卸資産の調整額	△10,662
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	322,139

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。